

高等学校 家庭科 シラバス

ねらい、学習目標

家庭科では、将来の自立に向けて、生活に必要な知識や技術を理解し、実際の生活の中で色々な課題を解決する方法を学ぶ。生活していくには知っているだけでなく、実際に手や体を動かして体験することが必要である。そのために、実習を行い、その過程で工夫し、想像する能力や物をつくる技術を習得する。

学年	第1学年	教科書	教育図書「家庭基礎」
		副教材	第一学習社「最新 生活ハンドブック」 オリジナルプリント

学習到達目標

- 将来のライフコースを描き、自立に必要な衣食住や育児・介護についての知識について考えていく。
- 家族に関する知識・法律などを身につける。
- 被服の働きと性質や取り扱いについて知り、被服の選び方を考える能力を身につける。ミシンを使ったエプロンの制作を行い、ミシンの使い方や衣服の制作の仕方を身につける。
- 栄養素の働きを知り、バランスのとれた献立を考えることができる能力を身につける。1学期に制作したエプロンを使って、調理実習をすることで、基礎的な調理方法を身につける。
- 悪質商法について学び、被害にあうことがないように、また経済的な管理を出来る能力を身につける。
- 快適で安全な住居について学び、住居をデザインする能力を身につける。

学習方法

オリジナルプリントを中心とした授業で、知識を身に付け、自分自身で考えプリントに記入していく。ミニレポートを行い知識の定着を促す。被服実習ではエプロン入れを作り、基本的な裁縫技術を身につける。調理実習では基本的な調理法を身につける。住居では住居の設計をデザインする。

年間シラバス (1年間の学習予定表)

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点と補講等
1 学期	1. 導入	1. 知的好奇心の育成をはかる。	オリジナルプリントへの記入・ミニレポートの提出・エプロンの作品点・期末考査で評価する。
	2. 家庭生活 ①ライフコースを考える ②家族についての知識・法律	2. 家庭生活 ①様々な生き方について考え、自分自身がどのようなライフコースを歩みたいかを考える。 ②家族についての知識や法律を身につける。自分なりの意見を考える。	
	3. 衣生活 ①エプロンの制作 ②衣服の機能・素材・手入れの仕方	3. 衣生活 ①エプロンの制作を通して、アイロンの仕方、ミシンの使い方、ボタンの付け方などを身につける。 ②衣服の目的・素材の特徴・洗濯などの方法などを学ぶ。	
2 学期	1. 食生活 ①食中毒予防 ②五大栄養素 2. 調理実習 (2回) ①味噌・ケーキ ②ピザ・ゼリー ③鯛のかば焼き・味噌汁	1. 食生活 ①食中毒予防方法を学ぶ。 ②五大栄養素について学ぶ。 2. 基本的な調理方法を身につける。 ①発酵や膨張などについて学ぶ。 ②包丁の使い方グルテンや発酵、ゼラチンについて学ぶ。 ③魚のさばき方、だしのとり方について学ぶ。	オリジナルプリントへの記入・授業態度・調理実習レポート・期末考査で評価する。

3 学 期	1. 食生活 ①栄養バランス ②食物の安全・選び方	1. 食生活 ①栄養バランスのよい食事を考える。 ②食物の安全性やこれからの食について考える。	オリジナルプリントへの 記入・住まいのデザイン・ 授業態度・期末考査で評価 する。
	2. 消費生活 ①悪質商法	2. 消費生活 ①悪質商法について学ぶ。	
	3. 住生活 ①快適な住まい ②住まいのデザイン	3. 住生活 ①快適な住まいについて学ぶ。 ②自分の住みたい住まいをデザイン する。	